

# 公益財団法人ひろしまドナーバンク

## 令和2年度事業実施報告書

(令和 3年 3月 31日現在)

本年度は、これまでの事業財源が年々減額となっていることなどから運営資金が逼迫し、年度初めの事業運営が難しい状況を改善するため、事業計画どおり基本財産の一部の取り崩しを行った。

事業の推進については、年度当初から新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による緊急事態宣言の発出、続く感染拡大の影響を受け、4年毎に開催する「献眼献腎合同慰霊式」の延期など、予定した事業計画を遂行することが出来なかった。

献眼の推進に関しては、COVID-19の影響から全国的に献眼数が減少傾向となっている中、医師からのオプション提示により本県の献眼実績は昨年より増加した。

移植医療の推進に関しては、全国的に臓器提供は COVID-19 の影響を受け、昨年度に比べ臓器提供が減少したことに加え、病院等への入館制限により院内体制整備のための研修会や、院内移植コーディネーター研修会等の開催が出来なかった。また同様に、一般県民への啓発活動として地域でのイベントや、大学、高校、専門学校へ移植医療についての出前講座が減少した。このような中、新たな普及啓発としてグリーンリボンをテーマとしたブックカバーのデザインを一般募集し、書店の協力により配布を行った。そのほか、広島県内の臓器搬送関係者等と協議を行い、臓器搬送システム構築とマニュアル作成などの体制整備を図った。

造血幹細胞移植の推進では、年度当初から COVID-19 の感染予防対策により骨髄ドナー登録会を5月末まで自粛することとなった。また、計画自体が立てられない状況から開催回数は大幅に減少したが、6月以降ボランティア説明員の感染予防対策を図り、骨髄ドナー登録者の確保を行った。

このところの賛助会費、寄付金等からの財源確保が見込めない状況のなか、ライオンズクラブでの「ドナーバンク支援自販機」設置促進の取り組みにより、設置台数が増加となった。

具体的な事業としては、次のような活動を行った。

## 管理部門

従来同様ライオンズクラブ等の支援団体などからの寄付金及び眼科医療機関等に設置して頂いている募金箱、「ドナーバンク支援自販機」からの浄財により事業に取り組んだ。その他、高額寄附者には感謝状を贈呈した。

### 1. 一般寄付金

9, 104, 340円

寄 付 者	金 額
ドナーバンク支援自販機	5,075,526
ライオンズクラブ国際協会	3,000,000
匿名	500,000
小林正夫	100,000
松崎睦子	100,000
山陽病院	78,275
戸田慎三郎	50,000
三嶋弘	50,000
日谷眼科	40,000
重河康弘	35,000
広銀ボランティア 45件	18,539
渡部朋子	12,000
加藤尚・良隆	10,000
笹田直美	10,000
保久早苗	10,000
大木昌弘	9,000
余頃礼子	6,000
寄 付 合 計	9,104,340

### ○ドナーバンク支援自販機による寄付金（内訳）

5, 075, 526円

設 置 場 所	台数	金 額
広島大学病院 広仁会館、P1 立体駐車場前、霞体育館、中央診療棟、臨床管理棟 3 階、 1 階待合口、2 階待合口、2 階みどりの広場、2 階エレベーター横 整形外科待合前、B F 1 階エスカレーター前	11	1,847,764
広島市立安佐市民病院	2	543,033
株式会社広島銀行本店（竹中工務店）敷地内・10F（★新規3、撤去3台）	0	391,120
中国労災病院	1	268,346
木村眼科内科病院（1階ロビー、4階ロビー）	2	250,977
株式会社福屋	2	201,063

広島電鉄株式会社	2	178,311
三次中央病院（救急病棟内・夜間休日出入口・バス停横）	3	152,094
株式会社ヒロテック（ドーム）	1	142,058
（医社）仁慈会安田病院	1	134,296
戸田工業株式会社（大竹工場2、創造センター1）	3	129,992
熊谷組（安佐市民病院現場）	1	118,553
（公社）広島市身体障害者福祉団体連合会 （広島総合リハビリテーションセンター）	1	84,217
J A尾道総合病院	1	78,864
株式会社ニシキタクシー	1	68,257
二階堂眼科	1	63,943
JA 広島総合病院	1	54,956
医療法人仁光会日谷眼科	1	40,000
メリーホスピタル（ワタキュー）	1	38,177
広島市医師会	1	35,398
医療法人井之川眼科医院	1	27,249
株式会社広島銀行本店仮店舗	1	26,453
広島県医師会館	1	24,409
つまもと眼科	1	22,889
荒木脳神経外科病院	1	20,887
福山松永ライオンズクラブ（★新規）	1	15,000
J A吉田総合病院	1	14,092
プルデンシャル生命保険会社福山支社（★新規）	2	13,590
医療法人J R広島病院	1	12,300
有限会社あおぞら（青空マート）（★新規）	1	12,200
松村循環器外科（★撤去1台）	0	11,524
安芸市民病院（★新規）	1	10,570
サンデン株式会社（★新規）	1	9,385
寺家駅（㈱エムケイ興産）（★撤去2台）	0	8,378
株式会社MASUDA（★新規）	1	7,760
梶川病院	1	7,272
安佐医師会館	1	4,865
広島スチール工業株式会社（★新規）	1	4,574
ユニテック工業株式会社（★新規）	1	710
設置台数・寄付額	55	5,075,526

## 2. 募金箱（33施設）

895,815円

施設名	金額	施設名	金額
かたぎり眼科医院	93,365	福山城西病院	18,570
戸田眼科的場医院	78,105	高陽ニュータウン病院	18,032
木村眼科内科病院	72,669	小島病院	17,837
しみず眼科医院	53,613	備北眼科	16,893
ひとみ眼科	46,005	古吉眼科医院	13,866
井上眼科医院	41,944	みなもと眼科	13,004
山代眼科医院	41,505	宮川眼科	11,714
八本松病院眼科	41,492	奈良井眼科	11,159
石田眼科医院	30,875	木村神経内科クリニック	10,927
藤原眼科	30,152	みやた眼科	10,057
安芸太田病院	29,052	まつなが眼科	9,649
竹田眼科医院	28,686	たんきょう眼科	9,306
藤武眼科	26,034	阿品土谷病院	9,158
井之川眼科医院	24,144	あんどろ眼科	8,794
伊達眼科医院	22,790	つるが眼科	7,965
藤武眼科	21,729	尾道クリニック	6,724
日谷眼科	20,000		
		募金箱合計額	895,815

## 3. 賛助会員

2,613,000円

法人会員 147口 83団体 (1,470,000円)

個人会員 381口 245名 (1,143,000円)

## 事業部門

### I. 献眼移植のあっせん事業

#### 1. 角膜提供者の募集及び登録に関する事業（定款第4条第1号）

①例年同様、献眼についての啓発用のポスター、パンフレット及び献眼申込書を広島県、市町、ライオンズクラブ、広島県眼科医会、角膜移植手術実施医療機関等を通じて県民への頒布を依頼し、献眼登録者の確保及び献眼推進運動を展開した。

◎献眼ポスター 300部（日本アイバンク協会より）

◎献眼パンフレット 作成なし（平成30年度作成分に対応）

◎献眼登録申込書 11,000部

◎献眼登録者連絡用マグネットシート 400枚（献眼登録時に配布）

②本年度はライオンズクラブ等が実施する献眼推進運動が出来ず、登録者は少なかったが、送られてきた「献眼登録申込書」について、記載不備などの確認の後、登録後当該申込者に「献眼登録者カード」「献眼登録者連絡用マグネットシート」を送付した。令和2年度の新規登録者は77名で、死亡・取消などにより実質130名減となった。

◆広島県の献眼登録者（3月末時点） 31,671名（130名減）

前年度末登録者数	31,801名
新規登録者数	77名
献眼者数	22名
取消数（転出・死亡等）	185名
3月末登録者数	31,671名

2. 角膜移植希望者の募集及び登録に関する事業（定款第4条第2号）

角膜移植希望者の募集は、従来どおり角膜移植手術実施医療機関に受付窓口を設置し、登録及び管理業務を行った。

◆広島県の角膜移植希望者（3月末時点） 62名

前年度末手術希望者数	62名（62眼）
新規手術希望者数	35名（35眼）
移植角膜数	35名（35眼）
希望取消数	0名（0眼）
3月末手術希望者数累計	62名（62眼）

3. 摘出角膜のあっせん及び保存に関する事業（定款第4条第4号）

本年度、ご提供頂いた角膜は次のとおりで、保存眼等を含み県内2施設にあっせんした。

- ① 献眼数 22名 44眼（保存眼等13眼）
- ② あっせん数 36眼（うち開設以来保存眼5眼利用）
- ③ あっせん先 ア 県内（35）； 広島大学病院（24）  
木村眼科内科病院（11）  
イ 県外（1）； 東京：聖路加国際病院（1）

◆全国及び広島県の献眼状況（3月末時点）

献眼者数	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度実績
全国	828	869	720	725	466
広島県	27	22	18	18	22

#### 4. 献眼・献腎を含め臓器提供者への敬弔

献眼及び献腎等臓器を提供された方に対し、感謝状の贈呈を行うとともに、弔電、花輪をお供えして弔意を表明した。また、厚生労働大臣感謝状に供物を添えてご遺族に伝達したが、新型コロナウイルスの感染予防対策として、ライオンズクラブ会員以外の献眼者については、ご葬儀等への参列は控えることとし、感謝状は郵送で対応した。

- ①献眼者 22名（厚労大臣感謝状伝達13名）
- ②献腎者 1名（厚労大臣感謝状伝達1名）

## II. 移植医療の推進に関する普及啓発事業

### 1. 移植医療に関する知識の普及啓発に関する事業（定款第4条第3号）

#### 1) 一般に対する移植医療に関する知識の普及啓発

①例年のライオンズクラブが実施する献眼推進運動やその他イベント等が新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったため、啓発パネル、幟の貸し出しなどによる啓発活動が行えなかった。

- ◎パネル利用状況 なし
- ◎角膜用のぼり利用状況 なし
- ◎臓器用のぼり利用状況 なし

②広島県眼科医会主催の「目の健康講座」（中止）

③例年の地域での健康まつり等は、新型コロナウイルスの感染予防対策のため中止となった。イベントには啓発グッズの貸出のほか、コーディネーターが出向き啓発活動に従事した。

④広島県眼科医会が主催する「マスコミ懇話会」（中止）

⑤マツダZOOMZOOMスタジアムでの移植医療の啓発活動（中止）

⑥その他の啓発活動

i. ドナーバンク支援自販機を積極的に設置して頂くことにより、献眼及び臓器移植に関するポスター的な意味合いでの移植医療の普及啓発を行い、本年度の新規設置台数は12台増となり55台（撤去6台）となった。

（本年度ライオンズクラブ会員等のご協力により設置された台数は8台）

ii. マスコミ各社へ移植医療の普及協力の依頼および取材対応を行った。

（中国新聞社・広島テレビ・広島ホームテレビ・テレビ新広島・中国放送・RCCラジオ等へ依頼）

#### 2) 啓発用のポスター及びパンフレット、バンクだより等の作成及び配布

①当バンクで作成したグリーンリボンキャンペーンポスター、および公社）日本臓器移植ネットワークのリーフレット等を公共施設、関係団体へ配布するとともに、公財）日本アイバンク協会から購入するポスター等を眼科医療機関及びライオンズ

ラブ等に配布して、県民への啓発に努めた。

i. 「ひろしまドナーバンクだより」(21,500部)を発刊。

ii. 移植医療に関する啓発グッズや資料を作成し関係方面に配布するほか、骨髄ドナー登録に関するチラシをイベント等で活用して頂くために、データ等の資料を作成し提供した。

## ② グリーンリボンデザイン公募プロジェクト

県内の中高大学等含む県民へグリーンリボンをテーマとしたブックカバーのデザインを公募。応募91作品の中から優秀作品1点を県内の協力書店で配布した。

○授与式：3/4 広仁会館、

○配布：3/5～フタバ図書・廣文館(14店舗：33,000枚)

## 3) 10月の普及推進月間行事の開催・参加

臓器移植関係、骨髄関係のボランティアなどと連携し、広島県、広島市、企業等の協力を得て移植医療の推進に係る活動を展開した。

### ① 骨髄パネル展・骨髄ドナー登録会の実施

○イオンモール広島府中 1階 ムーンギャラリー

内容：パネル展(9/28～10/4)

集団登録会(10/4：新規登録者22名)

広島県主催「骨髄バンク推進街頭キャンペーン」(中止)

### ② ひろしまグリーンリボンマラソン2020(中止)

### ③ グリーンリボンキャンペーン2020in 広島

○グリーンリボンキャンペーンポスター・ステッカー等の配布や展示

協力企業等：広島県タクシー協会209カ所(5,239枚)

広島県バス協会(1,000台分)

県内図書館(14カ所)

提供病院に展示ブース開設(23カ所)

○本通り商店街アーケードおよび福屋広島駅前エールエールA館にライトアップの協力をいただいた。(10/16～10/25)

### ④ グリーンリボンフェス2020への企画準備および支援を行った。

○NPO法人グリーンリボン推進協会主催：グリーンリボンフェス2020(10/7～17)

## 4) 講師等の派遣を行う出前講座を開催

① 出前講座により、広島県臓器移植コーディネーター等が、臓器提供、意思表示に関する講義を行い移植医療の普及啓発を行った。例年の出前講座のほとんどが、新型コロナウイルス感染予防対策のため中止となった。

○呉共済病院看護専門学校(10/16)

○皆実高等学校(3/2)

②出前講座等により、献眼・角膜移植、骨髄ドナー登録に関する普及啓発を行った。

○LCキャビネット研修会(7/30 献眼・骨髄)

○福山久松ライオンズクラブ(9/23 献眼・骨髄)

○広島廿日市ライオンズクラブ(11/12 献眼・骨髄)

○比治山大学(9/2 骨髄)

#### 5) 厚生労働大臣及び広島県知事が感謝状を贈呈する移植医療に係る功労者の推薦

厚生労働大臣感謝状の推薦は見送りとした。一方、広島県知事が感謝状を贈呈する移植医療に係る功労者の推薦を行い、社会にその業績を披露した。

i 「普及啓発活動功労者」(広島県知事:個人)

○井上 真奈美(日本骨髄バンク認定説明員)

## 2. 献眼・献腎・造血幹細胞移植並びにその他臓器移植の推進に関する事業

(定款第4条第7号)

### 1) 献眼の推進に関する事業

①献眼推進委員会の開催(8月27日)

②ライオンズクラブ会員に更なる献眼推進運動への理解と協力を得るため「日本アイバンク協会認定サポーター講習会」を東部地区(福山市)にて開催した。

日 時:令和2年10月22日(木)午後2時～

場 所:備後地域地場産業振興センター

出席者:受講者52名+役員4名

③角膜摘出協力医に関する研修会(中止)

### 2) 造血幹細胞移植の推進に関する事業

造血幹細胞移植の推進のため、広島県赤十字血液センター、広島県、広島市と患者家族の会「広島つばさの会」「がんの子供を守る会」「広島国際大学骨髄バンク推進委員会しずく」「山陽女子短期大学SRV」「日本赤十字広島看護大学」などのボランティア団体等と連携し、骨髄ドナー登録者の確保事業に取り組んだ。

①説明員養成研修会を開催し、広島国際大学しずくから6名の方に説明員の資格取得に関する説明を行った。

ア 養成研修会(10/1=6名) イ 実地研修会(適宜)

②説明員養成研修会を開催し、山陽女子短期大学から9名の方に説明員の資格取得に関する説明を行った。

ア 養成研修会(12/15=9名) イ 実地研修会(適宜)

③骨髄ドナー登録者の確保対策への協力

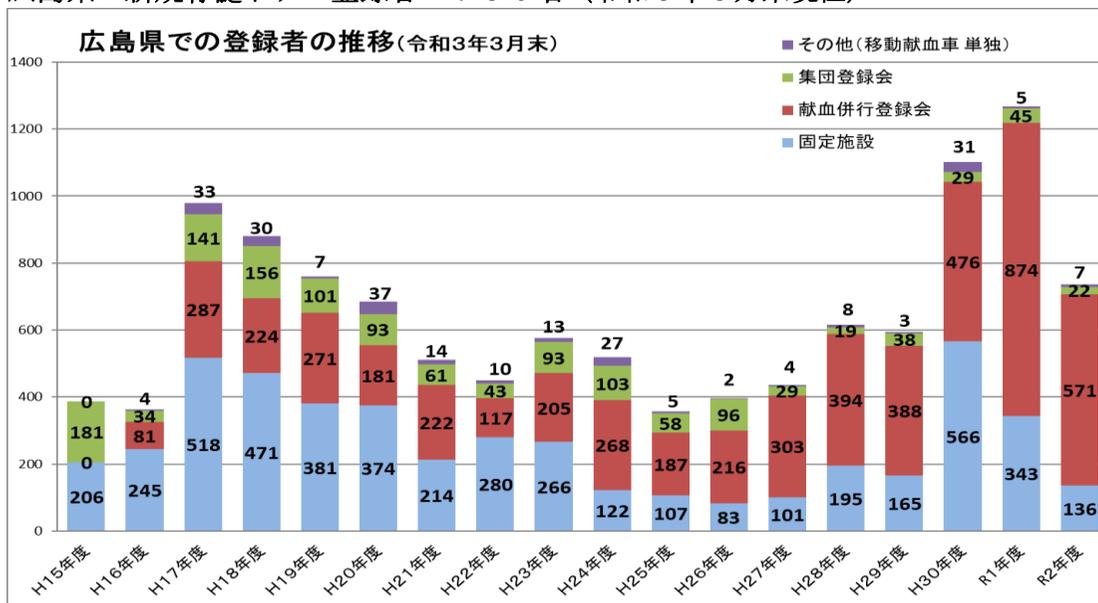
公財)日本骨髄バンク等が主体として実施する骨髄ドナー登録者の確保のため、行政等の協力により、骨髄ドナー登録会を開催した。

◆ひろしまドナーバンクが実施した骨髄ドナー登録会の回数と人数

新規登録者 593名 (令和3年3月末現在)

登 録 会		昨年度	本年度
事前説明会	回数	0回	0回
	登録者		
集団登録会	回数	1回	1回
	登録者	45名	22名
献血併行型登録会	回数	94回	63回
	登録者	874名	571名
合 計	回数	95回	64回
	登録者	919名	593名

◆広島県の新規骨髄ドナー登録者 736名 (令和3年3月末現在)



◆骨髄ドナー登録者数・移植希望者数・移植者数・提供者数 (令和3年3月末現在)

区 分	全国	広島県	
		実数	人口1万対比
ド ナ ー 登 録 者 数	529,708 (94.8)	9,883 (全国第16位)	81.8 (全国第29位)
患 者 登 録 者 数	1,862 (国内1,342)	20 (全国第23位)	
骨 髄 移 植 者 数 (財団発足後累計)	25,120 (国内24,836)	696 (全国第11位)	
骨 髄 提 供 者 数 (財団発足後累計)	25,144 (国内24,946)	619 (全国第12位)	

注) 提供者と移植者との数字の違いは移植に至らなかった件数があるため

### Ⅲ. 移植医療推進のための医療施設における院内体制の整備等に関する支援事業

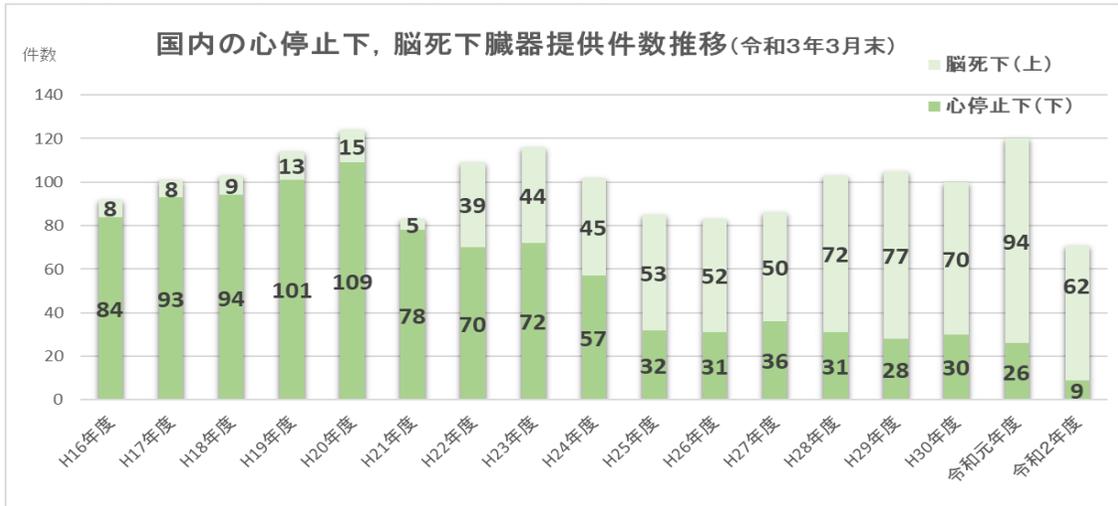
#### 1. 移植医療に関する知識の普及啓発に関する事業（定款第4条第3号）

一般県民への普及啓発と同時に、医師・看護師等医療関係者の理解と協力が不可欠であることから、広島県行政や各病院の院内コーディネーターと共に、密接な連携を図りながら、院内体制整備支援を行い、臓器移植推進に取り組んだ。

#### ◆献腎登録者 8,913名（31名減）

前年度末登録者数	8,944名
新規登録者数	1名
献腎者数	1名
取消数（転出・死亡等）	31名
3月末登録者数	8,913名

#### ◆全国の心停止下・脳死下臓器提供の推移（年別：令和3年3月末時点）



\*脳死下の内、臓器の提供に至らなかった件数を含む

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
脳死下提供数	全国	50	72	77	70	94	62
	広島	1	2	2	2	3	0
心停止下提供数	全国	36	31	28	30	26	9
	広島	0	0	2	3	0	1

#### 1) 救命救急センターなどの臓器提供施設等への訪問

提供施設の感染対策による訪問の禁止や自粛要請から、メールや電話、郵送等を中心として院内移植コーディネーターと連携を図り、医療体制の状況に応じて訪問し院内体制整備の支援を行った。そのため訪問件数は減少となった。

①対象施設 26施設

②訪問施設および回数 25施設 28回

広島市民病院、県立広島病院、広島大学病院、廣島総合病院、呉医療センター、中国労災病院、三次中央病院、東広島医療センター、安佐市民病院、梶川病院、広島赤十字・原爆病院、マツダ病院、尾道総合病院、尾道市民病院、呉共済病院、福山市民病院、大田記念病院、興生総合病院、寺岡記念病院、荒木脳神経外科病院、中国中央病院、三原赤十字病院、五日市記念病院、府中市民病院、ライフケアクリニック

## 2) 臓器提供に関する関係者の連絡協議会等の開催及び参加

①広島県臓器提供施設協議会（計画1回） 0回

②院内コーディネーター研修会（計画3回） 0回

③広島県移植推進委員会（2/3） 1回

④広島県内の臓器搬送関係者等と協議を行い、臓器搬送システム構築とマニュアル作成。臓器搬送が多様化しているため広島空港だけではなく、岡山空港への搬送体制も構築整備を行った。

臓器搬送関係者会議 開催件数 8回

○医療介護人材課(6/4)

○広島県警(11/6, 11/17)

○県防災センター(11/13)

○広島空港管理事務所(11/13)

○広島市消防局(11/10)

○危機管理課・消防保安課(11/25)

○岡山空港管理事務所(12/9)

## 3) 院内コーディネーターとともに院内関係者への啓発活動等

各提供施設、部門ごとに専門性の高い研修会を開催し、院内での臓器提供発生時の役割等を検討する機会としていたが、コロナ禍の為多くの病院で開催延期や中止となった。

①院内研修会・勉強会・臓器提供シミュレーションの開催及び支援・協力  
開催件数 4回

○県立広島病院 症例検討会(6/28:6名)

○J A尾道総合病院 臓器提供委員会(7/30:20名)

○広島赤十字・原爆病院 臓器提供委員会(10/14:25名)

○荒木脳神経外科病院 シミュレーション(3/1:10名)

②院内体制整備資材の作成

i. 臓器提供病院院内患者用啓発チラシ

ii. オプション提示用リーフレット(救命センター・医療連携等へ設置)

iii. 臓器提供ドナー適応判断シートファイル(院内関係者用)

#### 4) コーディネーターの学会・研修会への参加

広島県臓器移植コーディネーターが、(公社)日本臓器移植ネットワーク及び移植学会等が主催する研修会に参加し、最新の移植情報の収集と資質向上に努めた。

- |  |    |
|--|----|
| ①日本臓器移植ネットワーク主催等の研修会 (Web 11/18-20, 12/18)                               | 2回 |
| ②中国四国コーディネーター会議 (Web 10/6, 12/15, 2/15)                                  | 3回 |
| ③日本移植学会総会 (Web 11月)  | 1回 |
| ④日本移植学会・JATCO共催セミナー (Web 5/2)  | 1回 |
| ⑤第54回日本臨床腎移植学会 (Web 2/17-19)   | 1回 |
| ⑥西日本組織移植コーディネーター研修会<br>(Web 5/12, 6/9, 8/21, 10/15, 12/21-22, 1/21, 3/9) | 7回 |
| ⑦いのちの教育セミナー (Web 1/23)   | 1回 |

#### 5) 献腎を含めた臓器提供事例が発生した場合の業務

県内で臓器提供事例が発生した場合には、広島県臓器移植コーディネーターが中心となって、(公社)日本臓器移植ネットワークの指導のもと、情報収集と臓器搬送等の対応を行った。そのほか提供に至らなかった臓器提供情報に対して、情報収集とその対応を行った。